

# 川島織物セルコン 本社・工場見学のご案内



創業 1843 年。伝統と先端技術を併せ持つファブリックメーカー 川島織物セルコンは、京都市左京区市原に工場をおき、厳しい品質管理のもと、高い品質の織物を作り続けています。本社 市原事業所では、カーテンの生産工程である染色～整経～製織～検反を一貫体制で行い、生地地完成までを見学いただける「生産棟」のほか、帯・美術工芸（劇場用の緞帳製作現場を含む）といった当社の原点ともいえる手織りを行う「工芸棟」、そして 16 万点に及ぶ史資料を通じて当社のモノづくりを紹介する「川島織物文化館」を、ご見学いただけます。皆さまのご来社を、心よりお待ちしております。

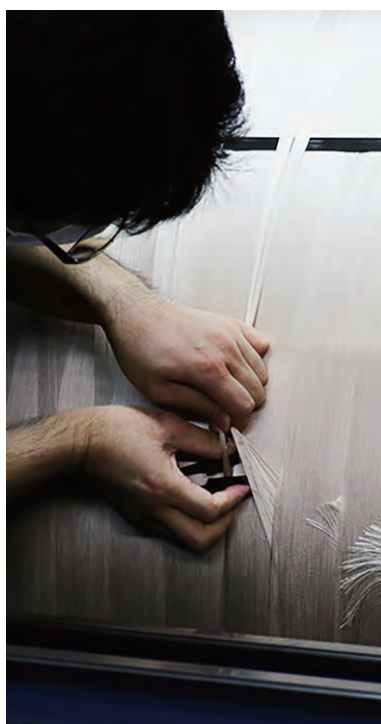


Photo by @kawashimaselkon\_textiles (instagram)





セントルイス万国博覧会「若沖の間」



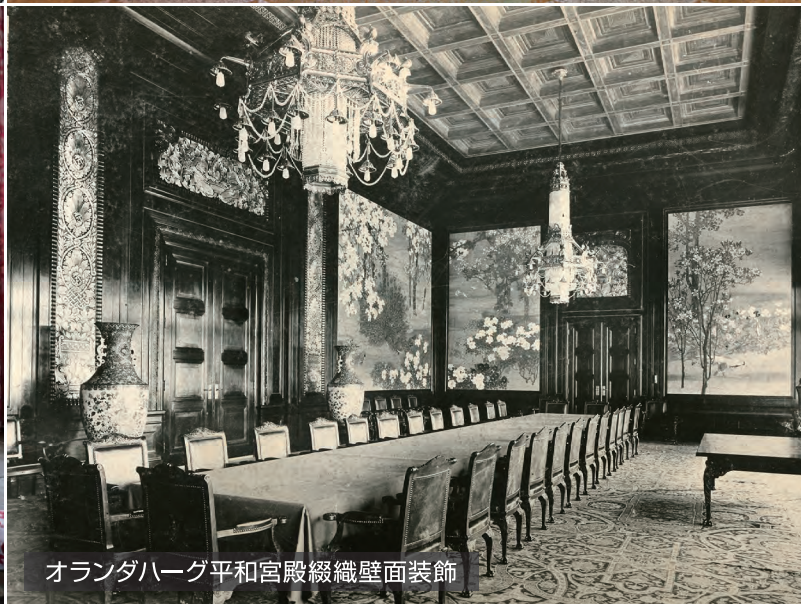
ミラノデザインウィーク「百花 craft & industry」 撮影：ナカサンドパートナーズ



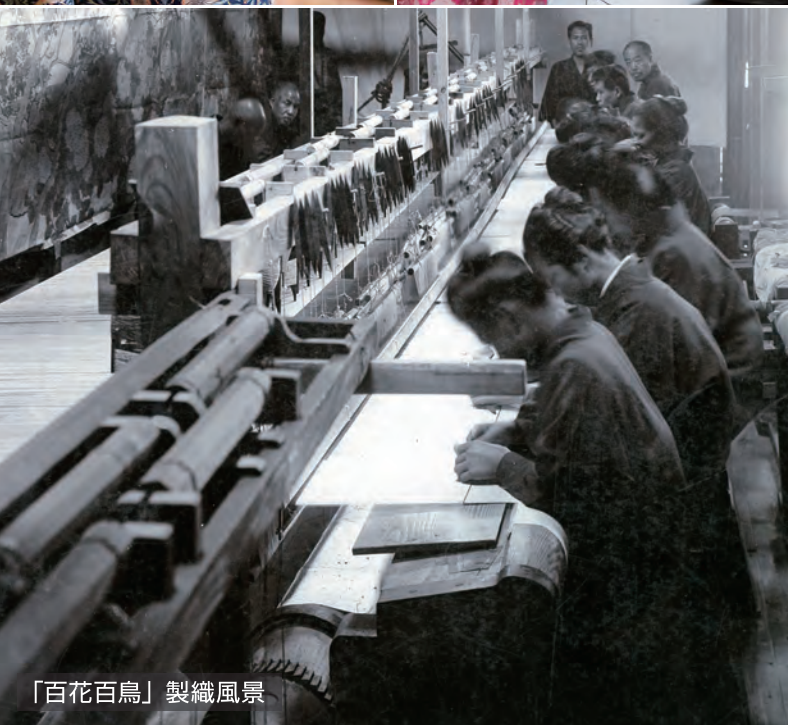
オーダーカーテン  
「Morris Design Studio」



オーダーカーテン  
「Sumiko Honda」



オランダハーグ平和宮殿綴織壁面装飾



「百花百鳥」製織風景



## 歴史に培われた 織物の技術

川島織物セルコンは、伝統と先端、技術とデザインが共存するファブリックメーカーです。

1843(天保14)年に創業し、1888(明治21)年に明治宮殿の室内装飾で織物を謹製。以来、多彩な空間に最適な製品を提案してまいりました。

また、古代織物の研究・復元や、帯・緞帳・祭礼幕に代表される伝統的技術の伝承に取り組む一方で、機能性ファブリックや環境配慮型商品の開発も行うなど、時代に合ったモノづくりへ取り組んでいます。